



13期生・14期生・15期生の学習環境

年間通して多くの外部講師先生が本校に来校し、各々の専門的な情報や経験を私たちにご指導くださっています。学びを深めた各学年のみなさんは、それらの新しくインプットしたものと自身の考えを融合させ、表現（書く・作成する・まとめる・発表する・伝える）活動に取り組みながら“能力”を日々向上させているのです。

今回は、これまで実施された数多くの講演や校外学習から各学年1つずつ紹介します。

Touch Our Technology 11月8日（火）

13期生（3年生）のみなさんは2学期後半、総合的な学習の時間に「地域の魅力を発信～課題解決に向けて～」をテーマに学びを進めており、(株)竹千代の谷正義氏と華為技術日本(株)の伊藤崇晃氏の講演（「SDGs×地元の未来」）を聴いた後、実際にグループワークと発表を行いました。

5グループに分かれて、高齢化対策や鳥獣対策・伝統産業と技術継承対策・インバウンドツーリズム対策そして空き家対策について話し合い、自分たちの意見をまとめて全体で共有しました。現在は、自分たちの地域の課題に向き合い取組を進めています。



地域のためにできること 12月3日（土）

14期生の40名は、地元農家の方々とお店の方々の作物や商品について知り、販売のお手伝いを産直市場よってって貴志川店にて行いました。事前には、作業を手伝い、各商品の魅力をPOPとして表現するなど、自分たちのことばで地元のPRができる場を持つことができました。さらに“職”がどういうものであるのかということをお客様と関わることで少しながら感じることもできました。



交流授業 with 田辺中 11月16日（水）

近畿大学水産研究所白浜実験場での学習を終えた後、39名の15期生は、県立田辺中学校第1学年と交流しました。お互いにSDGsを元にしたテーマで総合的な学習の時間の取組を進めているため、今回は、「他者から学ぶ姿勢を身につけ、表現力の向上を図る」を目的に、9つのグループに分かれてこれまでの活動をまとめて自分たちが考えてきたことを発表しました。

